

2019年
5月
7日
立夏

東風

仙北市立 生保内中学校長室報

〒 014-1201
仙北市田沢湖生保内字武蔵野105-1
TEL0187-43-1181 FAX0187-43-3632

E-mail: obochu@sc.city.semboku.akita.jp https://www.city.semboku.akita.jp/sc_obochu/index.html

ゴールデンウィークが明け、学校での諸活動が再起動です。元号も『令和』となり、時代の変遷を感じつつ、前向きな指向で学校の有り様を描いていきたいと思えます。

さて、先月24日には臺北市立北投國民中學との姉妹校提携を結びました。北投國民中學から李素珍校長先生をはじめ、生徒10名、教師・保護者11名の来校がありました。仙北市からも門脇市長様など、多くのご来賓にお越しいただき、見届きいただきました。

以下、締結式でのあいさつ文です。



臺北市立北投國民中學の李校長先生をはじめ、関係者の皆さま、生徒の皆さん、本日は生保内中学校にお越しいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

また、本日、北投國民中學と生保内中学校が、姉妹校提携の締結に至ったことを心よりうれしく思っているところで、皆さんとともに喜び合いたいと思えます。

本校、生保内中学校は1947年（昭和22年）に開校、その後、統合を経て、今年73年目を迎えた学校です。

本校が位置する、仙北市田沢湖地域は、日本一深い湖・田沢湖や駒ヶ岳、温泉とともに森林地帯が広がる自然豊かな環境にあります。

また、世界の中で台湾の北投温泉と秋田県玉川温泉中のみ産出される、重晶石の一種で微量のRaなどを含み相当強い放射能を示す、北投石は特別天然記念物になっています。

このたび、北投國民中學と姉妹校提携を締結するにあたり、それぞれの学校、地域、観光を含めた交流を推し進めつつ、ふるさどを見つめ、将来の地域の担い手として、さらには、これからの国際社会で活躍する人材育成に資することを強く願っているところです。

昨年、11月には本市教育委員会、熊谷教育長と北投中學を訪問させていただきました。

訪問の際、李校長先生には、熱烈歓迎いただき、回廊や図書館、学校や地域の資料満載の部屋など、学校内の案内をしていただくとともに、学校経営の方針、中でも子どもたちの生き生きとした活動の紹介をしていただきました。李校長先生の教育理念に基づく学校経営の中で、生き生き活動している北投中學との姉妹校提携締結は、とてもありがたく、この締結を機に、両校の友好関係が深まり、交流が推進されることを確信しています。

また、訪問時には、PTAの大事な会合があったにもかかわらず、何PTA会長さん自らフレンドリーに接していただいた場面もあり、地域・保護者の方々との学校の強いつながりも十分感じてまいりました。

教育環境や制度の異なる国、学校規模も大きく違う北投中學と生保内中学校ですが、子どもたちをより良く育もうとする理念を、共通のよりどころとして、生保内中学校も最善を尽くして交流に臨むことをお約束いたします。本日は、誠にありがとうございました。

令和

立夏

立夏は、6日ころで、シンブルに「夏が立つが故なり」。新緑の香り、すがすがしい風、まぶしい陽射し。初夏らしい晴れた日が続きます。

メッセージカード
おもい

「双方向の情報発信」の一端として、「メッセージカード『おもい』」を今年も実施させていただきます。

このカードに、年2回、保護者の皆さんからわが子へのメッセージを書いていただき、校長室だより「東風」に載せて、子どもたちに届けることになります。

温かく見つめる家族のまなざしは子どもに安心感を与え、励ましの言葉は自信をもたらします。

ときには、思春期を迎えた子の親のほろ苦さや成長の喜びを、同じ年代の子どもをもつ親同士で共感しあうことで、子育てのエネルギーとすることにもなります。

何より、子どもたちの健やかな成長を支える力にしたいと思えますので、メッセージカードへの記入をよろしく願います。

4月17日のPTA・文体総会並びに学年懇談には、多くの皆さまに参会いただき、ありがとうございました。5月13日（月）には役員会・専門部会を開催します。（18時より）